

土浦平和の会

ニュースNO・81 1999年9月

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122

私にとっての8・15市民のつどい 今年も盛会

今年も丁度終戦の年と同じ暑い暑い真夏日が続きました。終戦記念日を考える市民のつどいが土浦一中地区公民館でおこなわれ、40名が終戦の年をしのいで予科練甲14期生の相原輝雄さんと学徒動員の栗栖恵子さんの話を聞き、自分たちの思いも語り合いました。お二人の話の中で強烈に印象に残ったことを下に書いてみました。また、ビデオ「地球の風ぐるま」を見てヒロシマ、ナガサキの生き証人たちの語る生々しい被爆の実相、その後半世紀にわたる被爆者たちの苦しみと核戦争反対のたたかひの跡を学びました。

相原さんの話

参加者「なぜ予科練に志願したのですか」

相原 「あの時代、学校で漫然と日を送ることは恥ずかしいことだった。予科練に志願する事がカッコいいことだった。」

参加者「特攻隊に志願したのは？」

相原 「予科練ではみんな志願しました。その中から選ばれることが名誉だった。しかし、その夜トイレで泣く者もいたのです。死を実感したとき、親兄弟の事を思ってやはり悲しみに耐えられなかったと思います」

栗栖さんの話

「東京の時、弟は長野県に集団疎開しました。しかし、食糧事情も悪く、やせ細ってしまったので、東京で空襲にあっても、家族と一緒にのほうがいと、呼び返したら、体中シラミだらけで服を燃したり、熱湯消毒したりで大変だったのを覚えています」

「土浦高女の時は亀城公園から阿見の航空廠飛行機工場まで毎日鉄道線路づたいに歩いて行って、飛行機の部品作りをやりましたが、どんな部品か全然わかりません。終戦の日、学校に登校させられてラジオを聞かされましたがなんとなく負けたのかなと思いました」



平和の旅

へのお誘い!

とき 9月26日(日) 27日(月)

ところ 富弘美術館・足尾銅山、精練遺跡
東大植物園・奥日光電頭の滝
陸自宇都宮駐屯地

あんない 栃木平和委

費用 2万円(バス代、宿泊、昼食)

*1日目昼食持参のこと

しめきり 9月15日(水)

行事ごよみ

- | | | | |
|------|---------------------|------|------------------|
| 8・4 | 8・15実行委(1中地区公) | 9・9 | 県平和委常任理事会(水戸) |
| 8・8 | ぼっぼの会「すいとんを食べる会」 | 9・19 | 県平和委理事会(石岡) |
| 8・15 | 8・15市民のつどい(1中地区公) | 9・21 | 土浦平和の会理事会(1中地区公) |
| 8・19 | 平和行進県南実行委(つくば) | 9・26 | 平和の旅(宇都宮、奥日光方面) |
| 8・22 | 県平和委「すいとんを食べる会」(水戸) | ~27 | |
| 8・24 | 土浦平和の会理事会(1中地区公) | | |